

議会傍聴に 24名



議会を傍聴して



生徒会長
三年 糸井 潤さん

今回、初めて議会を傍聴しました。そこで話されていた内容は一般会計予算から国民健康保険特別会計予算など、様々な平成28年度の予算についてでした。会期日程の最終日だったので、決議が中心でしたが、最後には活発な討論がありました。

地域活性化を重視した予算作成に対して、町民への負担が大きくなるという考えがあり、それを減らすべきという意見も出されました。どちらの意見にも納得ができ、私にはどちらが良いか判断をすることができませんでした。しかし、その中で感じ取れたのは、議員の地域を良くしたいという気持ちです。地域に対する思いを知れたこと

に、傍聴できた意義があったと私は思います。

そして、今回の議会のように、異なる意見を集約して結論づけるという手法を、今後の生徒会運営に生かしていきたいと思います。

今回は、本当に貴重な体験ができました。

「18歳選挙権」を前にして



リゾート観光科
三年 安達 翼さん

初めて議会を傍聴した。ただ、傍聴はしたものの、私は政治についてはあまり詳しくもなく、今回の議会を聞いていても、あまり内容が理解できずに、ただ見ていることしかできなかった。

私も18歳となり、今年から選挙権を持つ。参政権を持つのだ。そう考えてみると、この議会の内容も、しっかりと理解しなければ、近い将来困

るのは自分であると思ってしまう。

政治に対する考えは、やはり少子高齢化や原発問題、保育園の数が少ないなど、これからの将来に大きな不安や問題などを感じざるを得ないことが多い。

今の私には、わかっていない問題の方が多い。しかし、私が高校を卒業し社会人になった際に、改めてこの多くの問題が、後の私たちにどのようなことをもたらすのか、気になるところである。

今回の議会傍聴を契機に、「ただ何となく」ではなく、政治に参加する者としての意識をしつかりと持とうと思う。

町の未来を考える



リゾート観光科
三年 平山加奈恵さん

初めての議会傍聴は、議会

最終日ということもあり、那須町の国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計予算などが討論され、採決しました。仕組みについては授業で学習していました。実際にその場面を見学できたことは、貴重な体験でした。

議会終了後、私たちは、議場を見学させていただきました。実際に議長や町長の席などに座ることができ、即興で議会を開会するなど、こちらも貴重な体験でした。

議会での討論の際に、様々な意見を聞きました。若者男女のどこを優遇するか、私には決めかねますが、議員が、町民の考えた議論をしていることが伝わりました。

私は那須町在住です。これからも那須町を誰もが住みよい町にしていくために、何ができるのかを考えていきたいと思っています。

そして、今年から始まる18歳選挙権を活用して、政治に参加していこうと思います。